

[症例概要]

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用										
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置										
1	女 60代	肝予備能評価 目的 [内視鏡的逆行性胆道膵管 造影 (ERCP) 後膵炎]	185MBq 単回	<p>アナフィラキシーショック 原疾患：肝内胆管癌 既往歴：虫垂炎 副作用歴・アレルギー：なし 本剤投与歴：なし</p> <p>投与開始日 本剤185MBq静注。 (投与終了日)</p> <p>投与終了8分後 全身発汗著明，軽度チアノーゼあり。開眼しており，呼び名に反応あり。血圧，SpO₂測定不能。頸動脈触知せず。聴診にて呼吸音，心音確認できず。検査台にて心臓マッサージ開始。バッグバルブマスクにて換気開始（酸素10L/min）。全身に発赤あり。</p> <p>投与終了18分後 IVHよりアドレナリン1 A静注後，生理食塩液20mLにてフラッシュ。直後に全身痙攣あり。乳酸リンゲル液500mLを側管より投与開始。</p> <p>投与終了23分後 自発呼吸再開。酸素マスク装着。呼び名に返答あり。</p> <p>投与終了25分後 ドパミン塩酸塩10mL/hにて投与開始。</p> <p>投与終了30分後 ストレッチャーに移動後，血圧測定できず，心臓マッサージ実施し，体動，発声あり。</p> <p>投与終了31分後 ドパミン塩酸塩2 mLにてフラッシュ。呼び名に反応あり。</p> <p>投与終了35分後 ドパミン塩酸塩5 mL/hに減量。集中治療室へ入室。</p> <p>投与終了45分後 アナフィラキシーショックは軽快。</p>										
<p>臨床検査値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検査項目 (単位)</th> <th>投与開始前</th> <th>投与終了23分後</th> <th>投与終了27分後</th> <th>投与終了35分後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血圧 (mmHg)</td> <td>-</td> <td>57*</td> <td>42*</td> <td>220/170</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">* 拡張期か収縮期か不明</p>					検査項目 (単位)	投与開始前	投与終了23分後	投与終了27分後	投与終了35分後	血圧 (mmHg)	-	57*	42*	220/170
検査項目 (単位)	投与開始前	投与終了23分後	投与終了27分後	投与終了35分後										
血圧 (mmHg)	-	57*	42*	220/170										
<p>併用薬：プレガバリン，パンクレリパーゼ，エソメプラゾールマグネシウム水和物，アミノ酸・糖・電解質・ビタミン (2-4) キット，ピフィズス菌製剤 (4)，カモスタットメシル酸塩</p>														